

加茂市



議会だより

第 204 号

平成 31 年 4 月 26 日

編集発行 加茂市議会
〒959-1392

新潟県加茂市幸町 2 丁目 3 番 5 号

T E L 0256-52-0080 (代表)

F A X 0256-53-4684 (直通)

ホームページ

<http://www.city.kamo.niigata.jp>

E-mail

gikaijimu@city.kamo.niigata.jp

—平成 31 年 3 月定例会—

令和

しよしゅん れいげつ 初春の今月にして、きよ かぜやわら 気淑く風和ぎ、うめ 梅は

きょうぜん こ ひら らん はいご こう かお 鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫らす

(万葉集より 書き下し文)

〈主な内容〉

平成 31 年度予算決まる ……(2)

条例改正など可決 ……(3)

6 人が一般質問に登壇 ……(4)

委員会の審査から ……(7)

議案等審議結果、議員賛否の状況 ……(8)

希望に満ちあふれた新しい時代へ

新元号 令和の施行とともに

加茂市議会も新体制へ

平成31年度予算決まる

予算総額 一般会計0.8%増 233億円

予算議会ともいわれる三月定例会市議会は、十一日に招集され二十六日まで会期十六日間で開かれました。この定例会では、総額二百三十三億円となる平成三十一年度一般会計・特別会計予算と水道事業会計予算をはじめ、条例の改正及び廃止など市長提出議案十九件を慎重に審議の結果、全て承認、原案可決、同意しました。

市長は施政方針演説で、「平成三十一年度予算は、国が地方を圧迫して、極めて大幅に地方交付税交付金を削減してくる中で、高い水準の市政を堅持しつつ、新加茂病院に産科の診療科の実現を期するとともに、全小中学校の体育館に冷暖房（エアコン）を設置し、中学校の耐震工事を行う等の重要政策を実現して、市民の皆様お一人お一人を最大限にお幸せにする黒字の予算であります。四千百万円の黒字予算により、貯金の基金、繰越金は三十一年度末には約二億四千百万円となる見通しであります。これまでに到達した市政の高い水準をさらに高め、充実させて参りたいと存じます。」と決意を述べました。

市長は施政方針演説で、「平成三十一年度予算は、国が地方を圧迫して、極めて大幅に地方交付税交付金を削減してくる中で、高い水準の市政を堅持しつつ、新加茂病院に産科の診療科の実現を期するとともに、全小中学校の体育館に冷暖房（エアコン）を設置し、中学校の耐震工事を行う等の重要政策を実現して、市民の皆様お一人お一人を最大限にお幸せにする黒字の予算であります。四千百万円の黒字予算により、貯金の基金、繰越金は三十一年度末には約二億四千百万円となる見通しであります。これまでに到達した市政の高い水準をさらに高め、充実させて参りたいと存じます。」と決意を述べました。

定例会日程

- 3月 11日 本会議
- 12日 本会議
- 13日 連合審査会・全員協議会
- 14日 産業建設常任委員会
- 15日 産業建設常任委員会
- 18日 社会厚生常任委員会
- 19日 社会厚生常任委員会
- 20日 総務文教常任委員会
- 22日 総務文教常任委員会
- 26日 本会議

一般会計

2号議案 予算規模は、百四十億

平成三十一年度の一般会計と六特別会計を合わせた予算の総額は、二百三十三億三千六百万円で、前年度より〇・四%の増となりました。

八千四百万円で、前年度より〇・八%の増となっています。

歳出の主なものは、民生費が四十億三千九百五十六万八千円で、全体の二八・七%を占め一番多くなっています。

国保特別会計

3号議案 予算の総額は、二十七億八千八百三十三万九千円で、前年度より一・八%の減となっています。

歳出の主な内容は、保険給付費二十億二百四十九万九千円などです。

後期高齢者特別会計

4号議案 予算の総額は、三億六千九百九十九万九千円で、前年度より一・七%の増となっています。

歳出の主な内容は、後期高齢者医療広域連合納付金二億九千三百七十四万三千円などです。

宅造特別会計

5号議案 予算の総額は、三億四千九百四十二万円で、前年度と同額です。

歳出の主な内容は、用地購入

下水道特別会計

6号議案 予算の総額は、二十億六千五百六十八万五千円で、前年度より〇・六%の増となっています。

歳出の主な内容は、補助事業五億円、単独事業五千七百四十万円などです。

介護保険特別会計

7号議案 予算の総額は、三十一億六千二百二十四円で前年度より、〇・五%の増となっています。

歳出の主な内容は、保険給付費三十億一千六万五千円などです。

在宅介護サービス特別会計

8号議案 予算の総額は、五億八千六十二万三千円で、前年度より、一・二%の増となっています。

歳出の主な内容は、訪問介護事業費二億四千六百七十一万五千円などです。

水道事業会計

9号議案 収益的収支

では、八千九百八十四万四千円の当期純利益を見込んでいます。また、資本的収支では、一億三千二百八十五万九千円の不足額が生じますが、これは、損益勘定留保資金などにより補てんするものです。

平成31年度 会計別予算額と伸率			
区分	予算額 (千円)	伸率 (%)	
一般会計	14,084,000	0.8	
特別会計	国民健康保険	2,788,339	△1.8
	後期高齢者医療	306,999	1.7
	宅地造成事業	349,420	0.0
	下水道事業	2,065,685	0.6
	介護保険	3,161,024	0.5
在宅介護サービス	580,623	1.2	
合計	23,336,090	0.4	
水道事業会計	683,841	2.7	

働き方改革推進に伴う条例改正など可決

平成三十一年度の各会計当初予算を除く市長提出議案の主な内容は、次のとおりです。

条例制定

13号議案 職員勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正は、働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律が制定されたことにより、平成三十一年四月一日から長時間労働是正のため時間外労働の上限規制等が導入されることから、国に準じ改正するものです。

三十年度補正予算

10号議案 一般会計(第十三号)は、六百一十一万八千円を増額するものです。

この財源として、市債二千三百十万円などを増額し、繰越金二千七百七十七万三千円などを減額して措置するものです。繰越明許費の補正は、都市再生整備計画事業など六件が年度内に完了しない見込みのため設定するものです。

地方債の補正は、減取補てん債など二件を追加し、小学校施設整備事業債の限度額を変更するものです。

14号議案 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正は、災害弔慰金の支給等に関する法律及び施行令の改正により、災害援護資金の貸付利率を年三%以内で市長が定めるものとするほか、償還方法に月賦償還を追加すること及び保証人を削除するものです。

15号議案 桐タンス等海外販路開拓事業基金条例の廃止は、桐タンス等の海外販路開拓事業の経費に充てるための基金を設置するため、平成十九年三月二十六日に条例を制定しましたが、事業の実施はなく、今後の実施も見込まれないため、条例を廃止するものです。

19号議案 一般会計(第十四号)は、下条小学校非常階段改修工事費二千万円、石川小学校非常階段改修工事費一千五百万円、下条小学校埋設ガス管改修工事費五百四十万円及び葵中学校耐震補強工事費一億一千五百万円などを増額し、財政調整基金積立金九万一千円を減額する

ものです。この財源として、国庫支出金三千八百九十九万五千円及び市債一億一千六百七十万円を増額して措置するものです。

この結果、予算の総額は、百四十三億九千四百四十八万一千円となりました。

繰越明許費の補正は、耐震補強事業など三件が年度内に完了しない見込みのため設定するものです。

地方債の補正は、中学校施設整備事業債など二件の限度額を変更するものです。

11号議案 下水道事業特別会計は、一般会計繰入金の精算に伴い、繰越金五百六十五万二千円を増額し、同額繰入金を減額するものです。

繰越明許費の補正は、公共下水道事業が年度内に完了しない見込みのため設定するものです。

12号議案 介護保険特別会計は、保険給付費など二千三百二十万二千円を増額し、予算の総額を三十二億四千九百四十八万円とするものです。

規約の変更

16号議案 新潟県市町村総合事務組合規約は、三条・燕・西蒲・南蒲広域養護老人ホーム施設組合が非常勤職員に対する公務災害の補償等に関する事務に加入

するため、組合規約を変更するものです。

市道路線

17号議案 市道路線の変更は、市道東芝横線を延伸するもので、市道田中幹線から国道八号に向かい新潟市との境界までの道路改良工事を計画するため、変更するものです。

なお、現在は農道として白根郷土地改良区が管理しています。が、市道編入については協議が完了し、同意を得ています。

専決処分

1号議案 一般会計(第十二号)は、財政調整基金積立金一千万円を増額し、同額長期債利子償還金を減額するものです。

殖栗教育長再任に同意

18号議案 定例会最終日の本会議

で、三月三十一日に任期満了となる教育委員会教育長に、殖栗敏夫氏(長岡市、66歳)の任命について同意しました。

議会人事

二月十五日に保坂裕一議員から、二月二十五日に藤田明美議員から、それぞれ一身上の都合により議員を辞職したい旨の願い出があり、議長は辞職を許可しました。

二人の議員辞職により、次のとおり欠員の補充を行いました。

二月二十八日、樋口博務議員が産業建設常任委員会へ所属変更し、滝沢茂秋議員を議会運営委員に選任しました。

三月定例会初日の本会議で、三条地域水道用水供給企業団の議会の議員選挙を指名推選で行い、関龍雄議員を選出し、本会議休憩中に地方創生特別委員会を開催し、副委員長に三沢嘉男議員を選任しました。



第2号議案の採決(本会議最終日)

市議会3月定例会 一般質問

信号機の設置について

Y01998 安武秀敏 議員



問 ①(1)一月に交通事故が発生した幸町の市道交差点に信号機を設置しては。(2)須田郵便局付近の道路に歩道を設置できないか。

②市役所の夜間、休日の受付の人の所属と事務内容、今年度の受付件数はどうか。民間で働く若い人は昼間市役所に電話する時間もない。夜間、休日の受付で対応できるように、管理職員を配置しては。

③車椅子や視覚障害の方のために、平らな場所に共通投票所設置や投票箱を車載し回るのはどうか。郵便投票の実績を聞く。

④JR加茂駅エレベーター設置調査費五万円の結果はいかがか。

⑤県央医師会応急診療所を受診した加茂市民は二十九年度、一千五百九十九人。応分の負担をすべき。

カ所。①(1)市内の信号機は、五十八カ所。十二月に二十九カ所の

設置を加茂警察署へ要望した。黒水東区の交差点は信号機が設置できず、横断歩道を書いていただいた。加茂高校裏交差点は、以前、警察が横断中標示付灯火照明を設置した。信号機設置を要望する。(2)須田の道路は二棟の建物移転となり難しいが、県に話したい。

②受付はシルバー人材センター会員が行う。各種届受領等を行い、三年度二月末の市民課関係の届けは百七十三件。市民に親切丁寧に接するよう指導しており、管理職員の宿直の必要はない。

③共通投票所の設置にはセキュリティ確保等管理体制が重要。現在の職員体制では難しい。投票箱の車載は、公職選挙法上できない。自宅での郵便投票については、選挙管理委員会に問い合わせを。

④設置補助率引き上げや起債対象となるよう尽力している。市負担分は起債対象にならず、単独費となる。財政を見きわめ対応を考える。

⑤三条市長が県央医師会の応急診療所を単独型救命救急センターにする考えに私は反対し、同意しなかった。壊す必要のない建物を建てかえ、二千八百万円出せと言う。要請に従う義務も根拠も全くない。

カ所。①(1)市内の信号機は、五十八カ所。十二月に二十九カ所の

設置を加茂警察署へ要望した。黒水東区の交差点は信号機が設置できず、横断歩道を書いていただいた。加茂高校裏交差点は、以前、警察が横断中標示付灯火照明を設置した。信号機設置を要望する。(2)須田の道路は二棟の建物移転となり難しいが、県に話したい。

加茂市の行財政運営について

市政クラブ 茂岡明与司 議員



問 私の議会最後の一般質問。①積立金が一億九千九百九十九万九千九百九十九円。公債費比率は低下した。国保会計決算は歳入が歳入を上回る状況が続き、繰り上げ充用で対応した。いつ正常になるのか。(2)監査委員の決算審査意見は、財源の有効かつ効果的な配分に配慮され、健全財政の確保を図りながら、市民福祉の向上に努められたいと結んでいる。決算状況や監査委員の意見、国、県の行財政の現状を踏まえ、どう認識し判断されるのか。比率の解釈とその対応はどうか。(3)第四平成園や焼却場への対応はどうか。新たな構想と課題はあるか。

①報道は、財政調整基金のみ。の貯金は二億四千万円。内訳は財政調整基金を含む各基金で一億四百万円、土地開発基金で一億一

三百万円、宅地造成事業特別会計の繰越金で七千七百万円。三十一年度末に貯金は二億四千万円となる見通し。実質的な起債償還額は、三十一年度は二十九年度に比べ、約二億一千万円減少。これを見越して小中学校冷房化等様々な事業を実施。大雪だけは予定外で財政調整基金を充てざるを得なかった。

起債償還額は三十六年度から再び減少し始め、四十一年度から大幅に減少。国保会計は三十二年度に黒字に転じる。(2)単年度収支の減少は、大雪で支出が多かったため。高い経常収支比率は、国からお金を持ってきて、福祉に力を入れて

いるまちであることを示している。財政調整基金はふやしていくよう努める。自主財源構成比率は二十九年度は三一・九%。前年度から一・五%の低下は法人市民税の減少による。(3)第四平成園は次の次の任期中に建設を考えている。ごみ焼却場は、施設の管理運営に不都合がないよう精いっぱい努めてきた。

悪い部分は新しい物に取りかえ、施設を長くもたせ維持管理する。

カ所。①(1)市内の信号機は、五十八カ所。十二月に二十九カ所の

設置を加茂警察署へ要望した。黒水東区の交差点は信号機が設置できず、横断歩道を書いていただいた。加茂高校裏交差点は、以前、警察が横断中標示付灯火照明を設置した。信号機設置を要望する。(2)須田の道路は二棟の建物移転となり難しいが、県に話したい。

②受付はシルバー人材センター会員が行う。各種届受領等を行い、三年度二月末の市民課関係の届けは百七十三件。市民に親切丁寧に接するよう指導しており、管理職員の宿直の必要はない。

③共通投票所の設置にはセキュリティ確保等管理体制が重要。現在の職員体制では難しい。投票箱の車載は、公職選挙法上できない。自宅での郵便投票については、選挙管理委員会に問い合わせを。

④設置補助率引き上げや起債対象となるよう尽力している。市負担分は起債対象にならず、単独費となる。財政を見きわめ対応を考える。

⑤三条市長が県央医師会の応急診療所を単独型救命救急センターにする考えに私は反対し、同意しなかった。壊す必要のない建物を建てかえ、二千八百万円出せと言う。要請に従う義務も根拠も全くない。

カ所。①(1)市内の信号機は、五十八カ所。十二月に二十九カ所の

市議会3月定例会 一般質問

加茂市の20年後について

Y01998 大平 一貴 議員



問 市の今までの二十年を認識し二十年後を予測する。人口減少率は近隣市で一番高い。二〇四〇年の出生数は六十六人程度。社会減は二、三十代が六二%を占め、この年代の定住策がないと人口減少は止まらない。産業は大幅減少。産業政策の効果はどうか。地方交付税の減少率三%に対し、人口減少率は一八%、固定資産税収の減少率は二七%。財政悪化原因は交付税減少ではない。

人口減少が交付税減少の理由。税収対策、産業への投資、人口対策が必要。人口、産業、財政の数値は他市より悪い。どの辺で市の未来がさん然と輝いているのか。出生数増加、若い世代が戻るまちづくりはどうされるのか。ゼロ歳児医療費無料等々の施策は人口増加に効果があったのか。

答

少子化対策の切り札は、政府による完全な育児休業三年の政策である。市町村がとる政策では、加茂市は日本のトップクラス。

加茂病院に産科を実現することにより人口問題は好転する。これまでに全力を尽くし企業倒産を防いだ。大野精工等の企業を誘致した。中小企業金融安定化特別保証制度保証料の全額を市が出し、企業は危機を脱した。無担保・無保証人の小口融資制度をつくった。商店街近代化事業、郊外型大型店の出店禁止条例等で商店街を守った。製造品出荷額は八百億円まで回復した。地方交付税は、均衡ある地方の発展のため、日本全体に額を上げるよう、総務省に働きかけている。地方交付税が六億五千万円切られたままでも、市政の高い水準は一切削減せず、貯金を食いながら百人余の人員削減で乗り切った。日本の福祉施策、商工業、農業、自然環境を守るまちを堅持し、さん然と輝いている。これらにより、市民の皆様お一人お一人が、ますます幸せになり、二十年後も加茂市が繁栄していく。当然、企業誘致や宅地造成に努めていく。今後、空家・売家バンクの創設も考える。

洪水及び土砂災害のハザードマップについて

大志の会 滝沢茂秋 議員



問 ①(1)洪水ハザードマップ作成状況と

配布時期を伺う。(2)須田、西地区等、浸水が予想される避難場所の水害、震災対応等の内容をマップに明示や避難施設の対応状況を示す看板設置はどうか。(3)土砂災害ハザードマップ作成が必要。土砂災害警戒区域等の中に避難所等がある場合、市民周知と代替施設の検討や迅速避難を促す計画策定が必要。

②市民は清掃センターがある田上町民の状況を認識し、資源ごみの分別収集による焼却ごみ減量化に取り組むべき。田上町はペットボトル、段ボール、古紙類を分別収集し焼却ごみを減らす配慮がある。加茂市で行うなら、ガラス類、鉄類の収集を月各一回とし、その分を古紙類等資源ごみの分別収集日に充てると、収集費を捻出できる。

答 ①(1)県から八月末にいただいた浸水想定区域図をうのみにせず精査し、避難所等を書き込む。最大降雨の場合、三層の水で覆われる。避難所五十カ所のうち十三カ所は水が来ない。そのうち六カ所が土砂法の警戒区域等に入らない。災害はその都度態様が違い、一枚のハザードマップでの対応は無理。土砂法の区域指定のけりがつくまで、マップの作業は休止。(2)須田地区等の避難施設や洪水対応等の明示は、まだ申し上げられない。(3)県は土砂法の区域指定を急ぎ、市も作業中。土砂災害ハザードマップ作成を考える段階ではない。「人に構わず、ひたすら逃げよ。」とマップに記載する。②焼却炉は悪い部分を新しい物に取りかえており、老朽化していない。集塵機のろ布を十分交換しなかったことが原因。今後ろ布を十分に交換する。焼却能力は十分あり、古紙類を燃やさないようにする必要はない。古紙類回収は現状で十分。資源ごみ回収業者があり、他市にない資源回収が行われている。資源ごみの分別収集は十分で、ごみ減量化が機能している。鉄類等の収集日は減らせない。市民に迷惑がかかる分別の必要はない。

市議会3月定例会 一般質問

ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金の公募への対応について

大志の会 浅野 一明 議員



問 ① 中小企業庁のものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金は、生産性向上特別措置法に基づき固定資産税特別措置をした市で、中小企業者等が先端設備導入計画の認定を受けた場合の設備投資に対し、三分の二以内の補助率となり、税も優遇される。加茂市も対応すべき。

で市内で二十二件が認定を受けた。国は昨年、生産性向上特別措置法を制定した。市が導入促進基本計画の策定と固定資産税ゼロの特例に係る条例を制定し、企業が先端設備等導入計画を市を通じ経済産業省へ申請し、認定を受けることとなる。市の固定資産税減収分は普通交付税で七五%措置される。早急に導入促進基本計画を策定し、条例を議会に提出したい。

② 総務省主管の緊急防災減災事業を利用し、三十一、三十二年度で計画。他市が追随せず、減災・防災が国の重要政策である間におくれをとらないよう、体育館に冷暖房を設置したい。一〇〇%起債事業で、据え置き二年の十年間で返済。返済時七〇%の交付税措置。事業費は四億二千万円。市の実質負担は、一億二千六百万円、年間一千五百七十五万円を三十五年度から返済。維持費は十二校分で、電気・ガス代の年間二千八百万円程度と試算。

で理解できるが、新年度実施は財政運営が懸念される。設置費の国補助と市負担額、維持費等を聞く。

③ ごみ焼却施設の排出ガス中のダイオキシンの濃度が基準値を超え、県から使用停止命令が出された件について、ごみ処理の状況、炉の改修状況と再稼働の見通しを聞く。

答 ① この補助金は、企業が直接中小企業庁へ申請し、これまで

なく、稼働している二号炉で焼却できている。

加茂市における移住・定住促進について

公明党 三沢 嘉男 議員



問 加茂市の将来の推計人口は二〇四五年に一万七千人を下回る。減少に歯止めをかける対策はないものか。

大分県豊後高田市は人口二万三千人。移住支援事業を活用し、平成二十六年から四年連続社会増。五百三十二世帯、一千二百二十七人が移住してきた。これはふるさと納税を財源に、幼稚園、小・中学校の給食費無料、高校生まで医療費無料、市営塾設立。空き家バンク制度を活用した移住先の物件紹介、市内求人情報の検索環境の整備、新規就農を支援。田舎で暮らしたい人に対応し、魅力をアピールしたまちが社会増となっている。加茂市の児童・高齢者福祉は全国トップクラス。この魅力を生かした移住・定住促進を図ってはどうか。

人口減少対策は、国が行うべき大問題。育児休業期間を三年にし、その間、国のお金で育児ができるようにすれば、少子化脱却が進む。当時の亀井政調会長に提案し、育児休業期間は一年から三年になったが、お金が出るのは一年で、五割程度となっている。地方自治体は大したことはできない。それでも、加茂市がとってきた少子化対策は、市町村としては、日本のトップクラス。一例として大野精工等の企業誘致、加茂大橋の開通、スクールバスの配置、市民バス路線網の市内全域化、第二平成園及び第三平成園の開設、スーパーマーケットの存続、介護・看護支援センターの創設、ホームヘルプ、訪問看護、訪問リハビリの無料化、子ども医療費の無料化等々。このような施策を堅実にやっていくことが最良のやり方。豊後高田市は、移住・定住に重点を置いた施策を展開している。この施策は、莫大なお金がかかる。大學生、高校生で、昼間は加茂市に住んでいる人が大勢いることも考慮に入れておく必要がある。加茂市の政策の重点は、今加茂市に住んでいる方々お一人お一人を最高にお幸せにすることであり、無理して人口増加を求めてはならない。

答 人口減少対策は、国が行うべき大問題。育児休業期間を三年にし、その間、国のお金で育児ができるようにすれば、少子化脱却が進む。当時の亀井政調会長に

委員会の審査から

各常任委員会に付託された議案、請願は、3月14日から22日の間に各常任委員会を開いて慎重に審査した結果、議案は全て原案可決、請願は採択すべきものと決まり、最終日の本会議へ報告されました。

産業建設常任委員会

三月十四日と十五日の両日委員会を開催し、一般会計予算のうち所管部分など付託された議案八件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、一般会計予算を除く七件については、特に意見・要望を付すこともなく、いずれも全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

また、一般会計予算のうち所管部分については、質疑、討論がなされ、起立採決の結果、原案可決すべきものと決定しました。

三月十五日には、市道路線の変更箇所の現地視察を行いました。

社会厚生常任委員会

三月十八日と十九日の両日委員会を開催し、一般会計予算のうち所管部分など付託された議案八件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、

総務文教常任委員会

三月二十日と二十二日の両日委員会を開催し、一般会計予算のうち所管部分など付託された



産業建設常任委員会の現地視察(3月15日 東芝横線)

議案五件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、一般会計予算を除く四件については、特に意見・要望を付すこともなく、いずれも全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

また、一般会計予算のうち所管部分については、質疑、討論がなされ、起立採決の結果、原案可決すべきものと決定しました。

加茂市立の各中学校における運動部活動の方針の改定等を求める請願は、紹介議員の説明の後、審査を行い、趣旨妥当として、全会一致で採択すべきものと決定しました。

各中学校運動部活動の方針改定等を採択

三月定期市議会で受理した請願は一件で、審議の結果、趣旨妥当として採択し、市長及び教育委員会へ送付しました。

世田がん

1件

▽採択したものの

・加茂市立の各中学校における運動部活動の方針の改定等を求める請願(部活動の充実を目指す会)

特別委員会中間報告

最終日の本会議で、医療問題特別委員会及び地方創生特別委員会の中間報告が行われました。

・「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情(新潟県労働組合総連合議長)

医療問題では各団体と懇談を重ね、諸課題について調査研究・要望活動を行い、地方創生では市内団体との意見交換事項を集約し、提言書をまとめました。

・長時間労働もハラスメントもない人間らしい働き方の実現を求める陳情(雇用共同アクション@新潟 共同代表全日本港湾労働組合新潟支部執行委員長、新潟県労働組合総連合議長)

いずれの特別委員会も引き続き調査研究が必要であると認め、今後も委員会審議を継続すべきとの結論に達しました。

・「会計年度任用職員制度施行に伴う臨時・非常勤職員の地位・待遇改善を求める意見書」提出を要請する陳情(新潟県公務員共一般労働組合執行委員長)

議会に配付した陳情

・全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める陳情(日米地位協定を見直す会 共同代表)

・基礎年金等の改善と年金の毎月支給を求める意見書採択陳情(全日本年金者組合加茂・田上支部長)

・奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税(仮称)で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情(一般財団法人日本熊森協会)

3月定例会 議案等審議結果

Table with columns: 議案番号, 件名, 結果. Includes items like '専決処分の承認', '31年度一般会計予算', and '教育長の任命'.

連合審査会
三月十三日に連合審査会を開催し、各委員会に付託された議案十七件について、総括質疑を行いました。

全員協議会

三月十三日に全員協議会を開催し、地方税制改正の概要について説明を受けました。

議員意見交換会
二月二十二日に議員意見交換会を開催し、地方創生特別委員会の提言についての報告等について意見を交わしました。

議会日誌

8日 県議定会定期総会(村上市)

- 19日 医療問題特別委員会
22日 議員意見交換会
28日 各派交渉会
4日 議会運営委員会
11~26日 定例市議会
13日 全員協議会
9・10日 北信越議長会定期総会(福井市)

議員賛否の状況 審議結果の賛否が分かれた議案等(上の表の網かけ部分)について、賛否を公表します。

Table showing approval/disapproval status for items 2 and 18 across various groups like 市政クラブ, 大志の会, etc.

※○は賛成、●は反対、森山一理議長は採決に加わらない。 ※採決の種類：起立は起立採決。

詳しくは会議録で

三月定例会の会議録は、六月上旬に発行予定です。図書館、勤労青少年ホーム、かも川荘、ゆきつばき荘、各コミュニティセンターでご覧ください。
また、平成二十八年三月定例会分から、加茂市ホームページでもご覧いただけます。
今後とも会議録の発行に合わせホームページに掲載しますので、ご覧ください。

市議会を傍聴してみませんか

市議会の傍聴は、皆さんが選んだ議員が、どのように市議会で活動しているか、直接見ることでできる最も身近な方法です。
市政をもっと知るために、傍聴してみませんか。
改選後、五月に臨時会、六月に最初の定例会が開かれます。
定例会では、皆さんが選んだ議員の一般質問も行われます。
傍聴される際は、傍聴席入口の受付票に、住所・氏名などをご記入ください。
詳しい開催日時や一般質問の要旨等は決まり次第、加茂市ホームページに掲載します。